



森林環境教育ネットワークメールマガジン 第191号 (平成30年5月15日)



(目次)

- 1 <林野庁プレスリリースから>
奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島の世界遺産一覧表への記載推薦に関する国際自然保護連合(IUCN)の評価結果及び勧告について(速報)
 - 2 <全国森林レクリエーション協会から>
フォーラム「森林レクリエーション資源を活用した新たな山村と都市との交流」一般参加者の募集について
 - 3 <コラム> 森林環境教育の現場から(132)
 - 4 <森林・林業白書から> 温浴施設における薪ボイラーの導入
 - 5 <樹をとりまくはなし>(12) サクラの後継樹問題 ひこばえで更新
 - 6 <イベント情報>
 - ◆ 第2回 嗅いで・触って・甘くない!
 - ◆ 森林と市民を結ぶ全国の集い 2018 in 東京 (第22回)
ー 変わりはじめた「山」・「ひと」・「街」ー
- ☆ 事務局から



森林環境教育ネットワーク <http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>
 《バックナンバー<http://www.shinrinreku.jp/feenet/php4/mlbk/index.php>》
 《イベント情報の登録・閲覧 <http://www.shinrinreku.jp/feenet/einfo/>》
 一般社団法人全国森林レクリエーション協会 <http://www.shinrinreku.jp>



-
- 1 <林野庁プレスリリースから>
奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島の世界遺産一覧表への記載推薦に関する国際自然保護連合(IUCN)の評価結果及び勧告について(速報)
-

我が国が世界遺産一覧表への記載を推薦している「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」について、世界遺産委員会の諮問機関である国際自然保護連合(IUCN)の評価結果がユネスコ世界遺産センターから通知され、世界遺産一覧表への「記載を延期」することが適当と勧告されましたのでお知らせします。

- 1 IUCN の評価結果
我が国は平成29年2月に、ユネスコ世界遺産センターに対して、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」を世界遺産一覧表に記載するための推薦書を提出しました。
- 今般、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」は、IUCNにより、世界遺産一

覧表への「記載を延期」することが適当と勧告されました。

評価結果の具体的な内容は追ってお知らせいたします。

(参考 1) 諮問機関による評価結果の 4 つの区分

(ア)記載(Inscription):世界遺産一覧表に記載するもの。

(イ)情報照会(Referral):追加情報の提出を求めた上で、次回以降に再審議するもの。

(ウ)記載延期(Deferral):より綿密な調査や推薦書の本質的な改定が必要なもの(推薦書の再提出後、約 1 年半をかけて再度諮問機関の審査を受ける必要がある)。

(エ)不記載(Not to inscribe):記載にふさわしくないもの(世界遺産委員会で不記載決議となった場合、例外的な場合を除き再推薦は不可)。

(参考 2) 国際自然保護連合(IUCN)

IUCN(International Union for Conservation of Nature)。国家、政府機関、非政府機関で構成される国際的な自然保護ネットワーク。野生生物の保護、自然環境及び自然資源の保全に係る調査研究、途上地域への支援等を行っている。1948 年設立。

2 今後の予定

平成 30 年 6 月 24 日から 7 月 4 日までバーレーンで第 42 回世界遺産委員会が開催され、IUCN の勧告を踏まえ、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」を含む各締約国からの推薦案件について、世界遺産一覧表への記載の可否が決定されます。

2 <全国森林レクリエーション協会から>

フォーラム「森林レクリエーション資源を活用した新たな山村と都市との交流」一般参加者の募集について

全国森林レクリエーション協会では、平成 30 年 5 月 31 日(木)、東京都文京区の文京区民センターにおいて、森林レクリエーション資源を活用した新たな山村と都市との交流の事例発表と事例発表者をパネラーとするパネルディスカッションのフォーラムを開催します。フォーラムへの一般参加者を募集します。

1 趣旨

近年、「モノ消費からコト消費へ」と言われるように、旅行先等で一連の体験を消費するいわゆる着地型観光の人気の高まっています。保健休養・レクリエーションの場の提供という森林の有する機能を活用した森林レクリエーションは、まさに体験型のアクティビティであり、これを通じた山村と都市との交流が期待されています。このような状況の中で、従来型の森林の活用とは異なった森林レクリエーションに関心が集まってきており、地域の観光資源として注目され始めています。

本フォーラムでは、このような先進的な事例を紹介するとともに、森林レクリエーションを核とした山村と都市の交流プログラムへと発展していくための課題を検討します。

2 開催日及び会場

(1)開催日:平成 30 年 5 月 31 日

(2)時間:午後 2 時～午後 5 時 30 分(受付:午後 1 時 30 分)

(3)会場:文京区民センター(東京都文京区本郷 4-15-14)3階 3-A 会議室

(4)アクセス:東京メトロ丸の内線後樂園駅4B 出口徒歩 5分

東京メトロ南北線後樂園駅6出口徒歩 5分

都営三田線大江戸線春日駅 A2 出口徒歩 0分

3 主催

(一社)全国森林レクリエーション協会

4 応募方法

参加希望の方は、FAX 又はメールにより①お名前、②所属、③電話番号、④メールアドレスを記入の上、FAX 又はメールでお申し込みください。

定員に達ししたい締切らせていただきます。(定員150名)

FAX:03-5840-7472 E-mail:info@shinrinreku.jp

5 プログラム

13:30 受付

14:00 開会

14:15 事例発表

木村 正臣 氏(野反湖うらやまガイド)

千葉 達雄 氏((株)ソエ代表取締役プロデューサー)

坂崎 絢子 氏(滝ガール・滝文化ライター)

内田 有映 氏

(アソビュー(株)地域戦略室室長兼シニアコンサルタント)

外山 京太郎 氏(群馬県川場村村長)

16:35 パネルディスカッション

コーディネーター 宮林 茂幸 氏(東京農業大学教授)

6 その他

このフォーラムは(公社)国土緑化推進機構の「緑と水の森林ファンド」の支援を受けて実施します。

7 詳細については、次の URL の WEB をご覧ください。

URL:http://www.shinrinreku.jp/information/29_index_detail.html

3 <コラム> 森林環境教育の現場から(132)

北海道名寄市の郊外の小学校で、学校の裏山、神社山の自然観察をしました。ほとんど雪が解け、植物が芽生えています。「何でこんなに茎が赤いの?」「たぶん紫外線から芽を守っているのかな?」「そうか?草の赤ちゃんだもんね」「この不気味にでかい芽は何?」「昨年に大きな草がなかったかな?思い出して!」「あっあれか!名前忘れた!」「オオハナウドだよ!」こんな会話が続けました。「あっ!すごい!」「エゾエンゴサクが咲いているね!青の絨毯みたいだね!」「この花は?」「エゾイチゲだよ。きれいな

白だね！」日当たりの良い場所はスプリングエフェメラルの花園。子どもたちと分かち合っていたら、きれいな野鳥の声が聞こえました。すかさず2人の子どもが口笛で答えます。すると野鳥も反応、子どもたちと野鳥の会話が始まりました。冬が厳しかった分、春の自然が豊かです。すぐに夏になるので思いっきり春を楽しまなくては！

(森林インストラクター 柳原 高文)

4 <森林・林業白書から> 温浴施設における薪ボイラーの導入

東京都西多摩郡檜原村では、これまで利活用されていなかった村内の資源をエネルギー利用することで二酸化炭素の排出量を削減することを目標として、木質バイオマスの活用に取り組んでいる。

平成 24(2012)年4月から、檜原村温泉センター「数馬 の湯」において、従来の灯油ボイラーに加え、薪ボイラー（出力 80kW）2基を活用している。

年間に使用する薪 70 トンは全て村内の森林で伐採された丸太から生産されており、これまで使っていた灯油の量を減らすことで二酸化炭素排出量を削減し、地域の貴重な資源を地域内で循環させる取組となっているほか、薪製造施設の運営を地元のシルバー人材センターへ委託することにより、雇用創出にも貢献している。

(平成28年度森林・林業白書 事例から)

5 <樹をとりまくはなし>(12) サクラの後継樹問題 ひこばえで更新

土手に植えられているサクラの後継樹が、法的に植えられないというニュースを見ました。サクラの後にサクラを植えてもどうせうまくいかないことが多く、それはあまり取り上げてなく、「植えられるように法律を変えるべき！」と言っていました。でも、もっといい方法があるのです。秋田の角館も同じ状況で、植えられないので根元から出たひこばえを大きくしようとしているようです。根元から離れたところのものを選ぶといいらしいです。新潟の高田公園でもひこばえを大きくしていました。

ひこばえなら連作障害のようなことは無いようです。また、ソメイヨシノは接ぎ木ですが、苗木にする時、接ぎ木部分に土をかぶせて根を出させ、台木部分をはぎ取ってしまうそうです。なので、根もソメイヨシノなのでひこばえもソメイヨシノとなります。(根が出にくい他のサクラは台木のサクラになってしまうかもしれません。)ひこばえや胴吹き枝は花が咲かないと思っている人もいるようですが、ひこばえも胴吹き枝も2年以降なら花は咲きます。サクラを管理する人は、仇のようにひこばえや胴吹きを切っていますが、これがうまくいくと苗木代タダ。ひこばえが室に見えてきませんか？

(森林インストラクター・樹木医 岩谷 美苗)

6 <イベント情報>

- ◆ 第2回 嗅いで・触って・甘くない！
- ◆ 森林と市民を結ぶ全国の集い 2018 in 東京 (第 22 回)
ー 変わりはじめた「山」・「ひと」・「街」ー

◆第2回 嗅いで・触って・甘くない！

いろいろな香りのする草や樹木。

さわるとフワフワ、ツルツル、ザラザラの植物。

甘味だけ感じさせなくする葉っぱ。

などなど、

嗅覚・触覚・味覚がテーマにして、身近な樹木のふしぎを新発見！

子どもにわくわくを伝えるために、まずは、大人が楽しむための体験プログラムです。

[開催日] 2018年6月3日(日)

[場所] 林友ビル 6F 会議室

[交通] 地下鉄後樂園駅徒歩7分、JR 飯田橋駅徒歩10分

[参加資格] 子ども向けのプログラムなど行っている方、森林インストラクターなど

[参加費用] 日本森林インストラクター協会会員:800円

一般:1,300円(いずれも教材費込み)

[応募方法] 件名を「体験！ふしぎ樹木 申込」として、住所、氏名、性別、年齢、(森林インストラクターの方は登録番号)をご記入の上、メールにてお申込ください。

[応募締切] 平成30年5月28日(月)※定員になり次第締切

[主催] 日本森林インストラクター協会

[問合せ先] 文京区後楽 1-7-12

TEL 03-5684-3890 FAX 03-5684-3890

E-mail jim@shinrin-instructor.org

URL <http://www.shinrin-instructor.or>

◆ 森林と市民を結ぶ全国の集い 2018 in 東京 (第22回)

— 変わりはじめた「山」・「ひと」・「街」—

今回の東京開催で22回目となる「森林と市民を結ぶ全国の集い」を、2018年6月16日(土)～17日(日)上智大学四谷キャンパスにて開催します。

「森林と市民を結ぶ全国の集い」は、これまでに森林ボランティア団体をはじめ、森林に関心のある市民による情報交換などを目的として、1996年にスタートしました。

今回は、都市住民、農山村住民、また双方を行き来する人たちと、多様に広がる森との触れ合い方・利活用の事例を共有し、森と市民とがつながるきっかけの場にしたいと思えます。

17日には「SDGsの実現に向けて」をテーマとする、上智大学ソフィアシンポジウムも連携開催します。

[日程] 6月16日(土) 13時～17時30分 全体会 18時～交流会

6月17日(日) 9時30分～14時30分 分科会 全体会

[場所] 上智大学 四谷キャンパス <https://bit.ly/2JmP4Z8>

[参加費] 2日間参加 一般:2000円 学生:1000円
1日のみ参加 一般:1500円 学生:500円
交流会 3500円

[主催] 「森林と市民を結ぶ全国の集い2018in東京」実行委員会
公社 国土緑化推進機構 実行委員長 内山節・哲学者
[後援] 上智大学ほか

★くわしい内容とお申込み

<https://www.moridukuri.jp/forumnews/2018061617.html>

☆上智大学ソフィアシンポジウムについてはこちら

http://www.genv.sophia.ac.jp/news/news_180420.html

[申し込み・問い合わせ]

NPO 法人 森づくりフォーラム

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-25-14 第1 ライトビル 405

電話 03-3868-9535 FAX 03-3868-9536

事務局メール tsudoim@moridukuri.jp

★Web 申し込み → <https://bit.ly/2H1SnUU>

★FAX 申し込み → 下記内容を記入の上、03-3868-9536 にお送り下さい。

お名前 連絡先 参加日 参加希望分科会(第1希望/第2希望)

交流会参加の有無 弁当の要不要

[申し込み締め切り] 6月8日(金) 定員 250人

※本ネットワークの「イベント情報」(<http://www.shinrinreku.jp/feenet/einfo/>)にご登録
いただいたイベントや事務局にご連絡いただいた情報等の中から紹介します。

=====

☆ 事務局から

=====

当協会が主催するフォーラム「森林レクリエーション資源を活用した新たな山村と都市との交流」(平成30年5月31日開催)の一般参加者について、まだ余席が十分にあります。皆様の参加をお待ちしています。

ゴールデンウィークも終わり、みどりの月間(4月15日～5月14日)も終わりました。これから本格的な暑さと鬱陶しい梅雨の季節となります。イベントの主催者も参加者も熱中症対策には万全を期してください。(K)

~~~~~

☆☆☆ご投稿等は E-mail: [feenet\\_info@shinrinreku.jp](mailto:feenet_info@shinrinreku.jp) までお寄せください。

[編集発行]

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-7-12 林友ビル 6F

一般社団法人 全国森林レクリエーション協会 森林環境教育ネットワーク事務局

TEL:03-5840-7471 FAX:03-5840-7472 E-mail:[feenet\\_info@shinrinreku.jp](mailto:feenet_info@shinrinreku.jp)

URL:<http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>

~~~~~

